

パラリンピックのレガシーとは？

イアン氏

大事なものは“インクルーシブ・ソサエティー”

青山氏

障害者の抱える問題を理解するきっかけに



2020年オリンピック・パラリンピック東京大会まで残り2年となった。パラリンピックは障害者にとって住みよい東京をつくるきっかけとなり得るのか。パラリンピックについて研究している英国コベントリー大学リサーチフェローのイアン・プリテン氏と、ロンドン市が策定した長期構想『ロンドンプラン』を翻訳した青山俊元副知事が対談しました。



イアン・プリテン氏

障害者が適応

しにくい環境に

イアン 2012年のロンドン大会は過去最高のオリピック・パラリンピックとして成功したと言われています。その評価についていかがですか。

イアン 自身、過去5大会を見てきたが、スポーツ大会としてのレベルや興奮は確かに素晴らしい。しかし、事前に大会の公約として掲げたものが全て実現したかという点で幾つか問題点があった。

政治的・経済的・歴史的な観点から評価することが出来る。政府や大会組織委員会が大会の前に発表したレガシーには、幾つかできなかったものがある。その中でも私が特にイギリス政府に対して批判的であり続けているのは、経済的な部分だ。大会以降の政府の動きの中で、経済的な不況の

もともと、適応できる人間が生き残っていく方向性を取っていると思う。経済的な変化に対応できるような環境にある人が生活しやすく、障害がある人やハンデイクリップのある人たちが適応しにくい環境になってきている。

イアン 誤解がないように申し上げるが、パラリンピックのロンドン大会に良かったことが一つもなかったわけではない。大会のスタートアップとしての結果は、パラリンピックの選手が活躍するようになっていない成績を出した。確かに選手たちはそういう成績を出したおかげで、より多くの資金が福祉活動に回るようになったし、さらにその結果としてリオ大会でも優秀な成績を収めることができた。

一方で、そういったスポーツに関わりがない障害者が恩恵を受けるようにはない。パラリンピックは、障害があってもなくても、より多くの人が考えられる、意見を交わし合うきっかけになると思う。ただし、そういったときに想定される障害者が、実際に大会で見るようなエリート選手たちだけをイメージしてはいけない。大

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』はどうか」と質問したら、「ロンドンレガシー公社が市場原理・経済原理を優先しすぎる結果となったのが残念だ」と言っていた。公社のボードメンバーは金融・投資機関の人たちで成り立っていて、ソーシャルインクルージョンに理解のある人がいなかった。これは、東京でオリンピックを開催する場合にも、大きな教訓・注意点となるだろう。

青山 日本はバリアフリーというテーマに関心が高い。駅にエレベーターやエスカレーターを設置するという点については、日本の都市よりも進んでいると、日本人は評価している。点字ブロックの道や施設への設置も進んでいる。しかし、スタジアムや劇場、市民ホールにおける車椅子利用者のための座席数は、日本では圧倒的に少ない。

イアン 地下鉄の駅で、エスカレーターで二つ上に行った先に次のエスカレーターがなく、階段しかない。これは、エスカレーターでしか上がれない人がいる場合、そこを乗り越えてしまえば、それ以上は上がれない。なぜ、こんな作りになっているのか非常に奇妙だ。

青山 日本人はバリアフリーというテーマに関心が高い。駅にエレベーターやエスカレーターを設置するという点については、日本の都市よりも進んでいると、日本人は評価している。点字ブロックの道や施設への設置も進んでいる。しかし、スタジアムや劇場、市民ホールにおける車椅子利用者のための座席数は、日本では圧倒的に少ない。

エスカレーターを上ると段にはまる

青山 日本人はバリアフリーというテーマに関心が高い。駅にエレベーターやエスカレーターを設置するという点については、日本の都市よりも進んでいると、日本人は評価している。点字ブロックの道や施設への設置も進んでいる。しかし、スタジアムや劇場、市民ホールにおける車椅子利用者のための座席数は、日本では圧倒的に少ない。

イアン 地下鉄の駅で、エスカレーターで二つ上に行った先に次のエスカレーターがなく、階段しかない。これは、エスカレーターでしか上がれない人がいる場合、そこを乗り越えてしまえば、それ以上は上がれない。なぜ、こんな作りになっているのか非常に奇妙だ。

青山 日本人はバリアフリーというテーマに関心が高い。駅にエレベーターやエスカレーターを設置するという点については、日本の都市よりも進んでいると、日本人は評価している。点字ブロックの道や施設への設置も進んでいる。しかし、スタジアムや劇場、市民ホールにおける車椅子利用者のための座席数は、日本では圧倒的に少ない。



青山俊元副知事

ことを掲げてやるのではな... 足で上る人と、乗ったらくて、本当に大事なことに... 立ち止まって、エスカレーターが上るのに従っている... 人を2種類いる。東京では、さん掲げてどれもうまくい... 右側が上っていく人で、左... かないというよりは、人々... 満足度は高いと思う。掲... っているものを絞って入... けておけば、モニタリングも... 私、全員が立ち止ま... こに集中できる。それに対... するトラブルがあってもし... っかり対応できる。